

質疑応答等の内容一覧

番号	内容
1	<p>(質問) 佐伯地域の目標指標の中の新たな空き家等の掘起こし件数は、具体的には空き家バンクに登録する件数ということか。</p> <p>(回答) 空き家バンクに登録された件数と、登録はできなくても各地域でそういった情報として把握している件数をカウントしていこうと考えている。</p>
2	<p>(質問) 佐伯地域の計画を達成するために取組む組織というか実行部隊というのはいるのか。</p> <p>(回答) 空き家の関連については、コミュニティ創生課が取り組み、地域活性化につながる取組への支援については、地域振興課が取り組むこととなっている。</p>
3	<p>(質問) 公民館がコミュニティセンターになることで、具体的にどのようなことが変わるのか。</p> <p>(回答) 社会教育活動に限った利用といった縛りがなくなり、地域の課題解決につながる活動や、地域が儲けるような活動等、地域が自ら考えたことに利用できるようになる。</p>
4	<p>(質問) 大入島創生プロジェクトの中で、レンタサイクル事業の取り組みがあるが、導入する自転車の台数が分かれば教えていただきたい。</p> <p>(回答) 自転車4台、子ども用自転車4台、中古の自転車10台程度を導入する予定と聞いている。</p>
5	<p>(質問) 創生支援事業について、これまで補助金を活用しなくても運営できていた事業が申請しているとか、そういった状況があるか。</p> <p>(回答) コロナ禍で中止となっていた事業を再開させるには、今まで以上に力が入る。地域として事業を復活させようと取り組むことに対して、市として支援できることは支援していくというスタンスで行っている。</p>
6	<p>(意見) 津久見の花火大会は非常に盛り上がっていた。佐伯の花火大会が行われなかったことは非常に残念だった。子ども達の夏のイベントとして、復活を期待したい。</p> <p>(回答) 子ども達の夏のイベントという点では、今年度、キラキラ夜市というイベントを活力向上事業を活用し実施した。昔仲町で行われていた夜市を復活させたいということで行われた事業であり、非常ににぎわったイベントとなった。</p>
7	<p>(質問) 補助事業を活用した団体の活動を市民に情報提供する場はあるのか。</p> <p>(回答) 交付決定を行った事業については、HPで公開しているが、団体の活動の紹介という部分は今のところ行っていない。これから補助事業を活用しようと考えている団体の参考となるような情報は、HP等を活用し情報提供できるように検討したい。</p>
8	<p>(質問) 地域が輝く活力向上事業以外は、募集期間は設けていないのか。</p> <p>(回答) 地域が輝くにぎわい創出事業については、佐伯地域においては、佐伯市の他部署で補助を行ってきた事業を地域振興課に集約する形で引継ぎ補助しているため、募集は行っていない。地域が輝く創生支援事業については、年度当初に対象の協議会の事務局に対して、通知を行い、事業周知を行っている。</p>
9	<p>(意見) キラキラ夜市の事業は、今後、仲町商店街の方にエリアを拡大していきたいという考えをもって、昔のにぎわいを取り戻したいという思いで取り組まれていて素敵だなと感じた。 今回は夜市だが、朝市なんかを取り組むのも良いのかなと思った。また、若い方が葛港でイベントを企画されている話も聞く。若い人の発想を大事にしていきたい。</p>
10	<p>(意見) 事業をやるうえで、やはり1人ではできないので、メンバーとか窓口が必要。仲町商店街も昔みたいにみんなで話し合う機会も少なくなってきたので、まずはそのあたりから始めてみたいと思うよいきっかけになった。</p>

質疑応答等の内容一覧

番号	内容
11	<p>(意見)                      人通りが少ないことを逆手に取った、コスプレイヤーを対象にしたロケーション事業を行っている。仲町でもできればという思いもある。カードゲームを通して佐伯の文化を子ども達に伝えていくという取り組みも行っている。リアルの世界でも昔見えていた景色とか文化が見えるようになるといいなと思う。</p>
12	<p>(意見)                      コミュニティ協議会の立ち上げ時から関わってきた。最初は佐伯市が何かしてくれるという感じだったのが、いろんな話をしていくうちに、やっと自分たちが立ち上がらなければいけないという考えに今少しずつ変わってきている。若手から高齢者までが同じ場で意見を出し合うということがとても良かった。その中で公民館の閉館イベントが一つの成功体験となって、まとまりができてきたように感じている。</p>
13	<p>(意見)                      マラソン大会に参加した際、北海道から4回目の参加だという方がおり、リピーターづくりできていると感じた。同時に、佐伯の美味しいものを使ったおもてなし出店等があるととっても良いのになと思った。</p>
14	<p>(意見)                      教育文化の分野において、子ども・若者のスポーツ機会の充実と体力の向上とある。コロナ禍でプールの授業がなく、子ども達の泳力がすごく落ちている。これが最近の水難事故の多さに関係しているのではないかなと思う。プールの時間を増やすことが必要じゃないかなと思う。</p>